

2022年

# 周辺視目視検査セミナー

— 新たな1歩を：周辺視の見える化、数値化 —

目視検査  
DX

品質の最終確認を行う最終目視検査工程は、検査員間のばらつき、検査精度が、お客様工程で品質問題を起こしており、また、検査員が肩こり、腰痛、眼精疲労に悩まされているなど、多くの課題を抱えています。本セミナーでは、目視検査時に科学的視点から解明することはもちろんのこと、一歩進んで「目視検査のDX」について展開します。カン・コツから脱却し、数値により訓練する体験を実感していただけます。

8月8日(月)

10:00 ~ 16:30

場所

大阪工業大学  
梅田キャンパス 2階  
203セミナー室  
(大阪市北区茶屋町1-45)

参加費

5,500円(税込)

先着100名限定

※お申込みをいただいてから  
折り返し担当からご連絡した  
時点でお席の確保とさせて  
いただきます

主催：周辺視目視検査協議会

共催：株式会社テクノ経営ウェブソリューションズ  
共催：大阪工業大学ものづくりマネジメントセンター  
後援：静岡大学イノベーション社会連携推進機構

## 【講演内容】

### 【理論や周辺視の最新状況を知る】

- (1) 周辺視目視検査とは  
(2) 周辺視の見える化・数値化の理論と訓練法

周辺視目視検査研究所代表 佐々木 章雄  
(株)テクノ経営ウェブソリューションズ 篠田 正行  
(中小企業診断士)

### 【見える化・数値化装置を知る】

- (3) 据置型視線分析システム  
(4) アイトラッカー視線分析システム  
(5) 動的有効視野測定システム

静岡大学大学院総合科学技術研究科工学専攻教授  
海老澤 嘉伸  
(株式会社ガゾウ 社長 金田 篤幸)  
トビー・テクノロジー株式会社部長 岡田 憲典  
(株)テクノ経営ウェブソリューションズ 篠田 正行  
(中小企業診断士)

### 【見える化・数値化を進化させる】

- (6) 目視検査環境の見える化と最適化(目視検査DX)  
(7) 目視検査における健康状態の可視化手法

大阪工業大学情報科学部教授 皆川 健多郎  
成城大学データサイエンス教育研究センター  
特任教授 森 由美

### 【見える化・数値化による周辺視訓練を体験する】

- (8) 製品を用いた訓練装置の実体験

\*装置：据置型視線分析システム、アイトラッカー、有効視野分析システムなど

◆◆お振込先は主催の周辺視目視検査協議会になります。詳細はお申込み後、お知らせします(締切7/22)◆◆

## セミナー 受講申込書

申込書にご記入のうえFAXしてください

FAX送付先

06-6910-0863

貴社名		事業所名	
ご住所	〒	TEL ( )	FAX ( )
参加者	所属/役職	お名前	E-MAIL (必須)
		(ふりがな)	
参加券・請求書の送付先	<input type="checkbox"/> 受講者様以外 所属：	お名前：	E-MAIL (必須)

株式会社 テクノ経営ウェブソリューションズ ※<https://www.tmg.co.jp>

〒540-0037 大阪市中央区平野町2-3-14(ライオンズビル大手前)

【お問合せ先】TEL:06-6910-0861 担当:木内(ekiuchi@tmg.co.jp)

### ◆個人情報の取り扱いについて◆

お申込み戴いたお客様の個人情報は、細心の注意を払い管理させて頂き、主催側と共有いたします。お客様のセミナー申込内容の確認・参加登録・資料送付・参加料の確認等に利用させて頂き載します。また、弊社の各種サービスに関する情報及びご案内等の提供に利用させて頂くことがございますのでご了承下さいませよう宜しくお願い申し上げます。